

【オリコンサルグローバルの太田課長 JICA 能力研修でコロンボの事例紹介】

JICA 能力研修で
コロンボの事例紹介

オリコンサルグロ
ーバルの太田課長

国際協力機構（JICA）が実施した2020年度JICA能力強化研修「障害と開発・開発プロセスへの障害者の参加に向けて」に、講師としてオリエンタルコンサルタンツグローバルの太田陽子都市地域開発部課長が登壇した。「障害インクルーシブな事業形成」をテーマに、スリランカ・コロンボでのLRT（次世代型路面電車）プロジェクトなどでの事例を紹介するとともに、障害インクルーシブな事業を提案するため過去に実施した案件の経験を参加者と共有した。



研修で紹介したスリランカの事例写真

研修は、今後JICA業務に関わる人材がSDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた多様性を基礎とする共生社会の実現が目的。すべての取り組みに障害の視点を反映した障害インクルーシブな開発に取り組めるよう、「障害と開発」に関する基本的な知識、分析や実践の枠組みや視点、アプローチを獲得するために実施している。

7月上旬に5日間のプログラムで実施した研修で太田氏は、同社が担当したJICA

の「コロンボ新総合都市公共交通システム導入計画準備調査」と「コロンボLRTプロジェクト」での取り組み事例などを紹介。講義後、参加者によるグループワークにもオンラインターとして参加した。研修は感染症対策の観点からテレビ会議システムで行われ、開発コンサルタント会社やNGO、JICA職員など38人が受講した。